

5 施設類型ごとの基本的な方向性

「4 基本方針」を踏まえ、施設類型ごとの基本的な方向性(平成 28 年 4 月 1 日現在)を以下に整理します。

(1) 公共施設

① 行政系施設

a) 市役所

対象施設	施設数	施設名・主な建物等
	1	市庁舎 (1～5 号館、議会棟等)
現状・課題等		・耐震性能不足への対応及び老朽化対策が課題である。
施設の方向性		・築後経過年数や劣化状況等を踏まえて、現在進めている庁舎の更新に向けた検討を更に進めるものとする。その際、民間活力の活用の可能性を検討するものとする。

b) 出張所

対象施設	施設数	施設名・主な建物等
	10	牟礼、向島、中関、華城、西浦、右田、野島、富海、小野、大道
現状・課題等		・各地域の公民館（野島漁村センターを含む。）内に設置している施設である。
施設の方向性		・公民館等との併設施設である点を踏まえて、地域の核（拠点）の一つである小学校をはじめとする地域施設*の余剰スペースがある場合には、そのスペースを活用した複合化の可能性等、地域施設としての在り方の検討を進めるものとする。 ・マイナンバー制度の導入による行政手続の簡略化に伴い、施設の在り方について検討を進めるものとする。

* 地域施設…市内の地域ごとに設置されている施設(学区ごとに設置されている小学校、中学校も含む。)を総称して地域施設として定義

c) 消防施設

対象施設	施設数	施設名・主な建物等
	3	消防本部庁舎 (消防本部、消防署)、消防署南出張所、消防署東出張所
現状・課題等		・消防署南出張所及び消防署東出張所は、建物の老朽化対策が課題である。
施設の方向性		・市民の安全安心の確保のために必要不可欠な施設であり、継続保有を前提に築後経過年数や劣化状況を踏まえて、計画的な保全を進め、必要に応じて大規模修繕等を検討するものとする。

② 学校教育系施設

a) 小学校

対象施設	施設数	施設名・主な建物等
	17	富海、牟礼、牟礼南、勝間、松崎、華浦、新田、野島、向島、中関、西浦、華城、佐波、小野、右田、玉祖、大道
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・児童1人当たりの延床面積を比較するとばらつきがみられ、児童数が減少してきている学校がある。 ・現在、耐震診断の結果を踏まえて、校舎の改築を順次進めている。建物の築年数を勘案すると、耐震性能不足への対応及び老朽化対策が課題である。 	
施設の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も施設保有を前提に、これまで進めてきた「防府市立学校施設耐震化推進計画」（平成24年3月改訂）に基づく校舎の改築を進めるものとする。 ・今後は、「防府市学校施設長寿命化計画」（平成28年度策定予定）に基づいて、計画的な保全を進めるものとする。 ・校舎等の改築を行う場合は、児童数の動向を見据えて、規模の見直しや、小中一貫校又は公民館等の地域施設との複合化等の可能性の検討を進めるものとする。 ・当面、現状施設を継続保有する場合は、小学校を含む地域における公共施設の在り方を検討するものとする。また、余剰スペースがある場合には、地域の核（拠点）となる施設として他の施設との複合化の可能性の検討を進めるものとする。 ・地域での防災の拠点（避難所）となる屋内運動場の計画的な保全の検討を進めるものとする。 ・学校施設の中でも、稼働率の低いプールについては、児童数の状況に応じて近隣学校との共用や民間施設の活用の可能性の検討を進めるものとする。 	

b) 中学校

対象施設	施設数	施設名・主な建物等
		11
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒1人当たりの延床面積を比較するとばらつきがみられ、生徒数が減少してきている学校がある。 ・建物の築年数を勘案すると、老朽化対策が課題である。 	
施設の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、「防府市学校施設長寿命化計画」（平成28年度策定予定）に基づいて、計画的な保全を進めるものとする。 ・校舎等の改築を行う場合は、生徒数の動向を見据えて規模の見直しや、小中一貫校又は公民館等の地域施設との複合化等の可能性の検討を進めるものとする。 ・当面、現状施設を継続保有する場合は、中学校を含む地域における公共施設の在り方を検討するものとする。また、余剰スペースがある場合には、地域の核（拠点）となる施設として他の施設との複合化の可能性の検討を進めるものとする。 ・地域での防災の拠点（避難所）となる屋内運動場については、計画的な保全の検討を進めるものとする。 ・学校施設の中でも、稼働率の低いプールについては、生徒数の状況に応じて近隣学校との共用や民間施設の活用の可能性の検討を進めるものとする。 	

c) その他学校教育系施設

対象施設	施設数	施設名・主な建物等
		3
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・野島教員住宅は、建物の老朽化対策が課題である。 	
施設の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・築後経過年数や劣化状況あるいは児童・生徒数の推移を踏まえて、民間活力の活用の可能性を含めたより効率的な管理運営の可能性の検討や、必要に応じた修繕を実施するなどの計画的な保全の検討を進めるものとする。 	

③ 子育て支援施設

a) 保育所

対象施設	施設数	施設名・主な建物等
		3
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・富海及び江泊は、定員割れの状況にある。両保育所は、バリアフリーの対応をしていない状況にあり、建物の老朽化対策が課題である。 	
施設の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで進めてきた保育所の民営化や民間施設の状況を踏まえて、待機児童が生じることのないよう市民ニーズを十分把握するとともに、災害等の緊急時における保育の確保が可能であることを前提に、更なる民営化の可能性の検討を進めるものとする。 ・上記の検討を行った結果、今後も施設を継続保有とする場合は、築後経過年数や劣化状況を踏まえて、計画的な保全を進め、必要に応じて大規模修繕等を検討するものとする。 	

b) 留守家庭児童学級

対象施設	施設数	施設名・主な建物等
		25
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・11施設（牟礼、華浦、華浦第二、新田、新田第二、中関、中関第二、華城、華城第三、小野、玉祖）が、小学校敷地内に別棟により設置されている。 ・バリアフリーの対応をしていない施設が4施設（牟礼、中関、華城、玉祖）あり、これらの施設では建物の老朽化対策が課題である。 	
施設の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・「防府市子ども・子育て支援事業計画」（平成27年3月策定）に基づき、対象児童の拡大に伴う施設の増設を進めるものとする。 ・小学校敷地内に別棟により設置している施設は、小学校の余剰スペースがある場合には、そのスペースを活用した複合化の可能性を検討するものとする。 ・上記の検討を行った結果、今後も施設を継続保有する場合は、築後経過年数や劣化状況を踏まえて、計画的な保全を進め、必要に応じて大規模修繕等を検討するものとする。 	

c) その他子育て支援施設

対象施設	施設数	施設名・主な建物等
	8	児童館（宮市、右田、牟礼、玉祖） 留守家庭児童クラブ（宮市、右田、牟礼、玉祖）
現状・課題等		<ul style="list-style-type: none"> 児童館（福祉センターに併設）内に設置されている留守家庭児童クラブは、利用実態が留守家庭児童学級と近似している。
施設の方向性		<ul style="list-style-type: none"> 築後経過年数や劣化状況を踏まえて、計画的な保全を進め、必要に応じて大規模修繕等を検討するものとする。 民間活力の活用の可能性を含め、より効率的な管理運営の可能性について検討を進めるものとする。 留守家庭児童学級の増設に併せて、留守家庭児童クラブを留守家庭児童学級へ統合する可能性を検討するものとする。

④ 保健・福祉施設

a) 老人憩の家

対象施設	施設数	施設名・主な建物等
	15	上右田、勝間、大道、佐波、牟礼南、華城、牟礼北、松崎、玉祖、西浦、向島、中関、小野、富海、新田
現状・課題等		<ul style="list-style-type: none"> 12施設（上右田、華城、玉祖、向島、佐波、勝間、小野、西浦、大道、富海、牟礼南、牟礼北）がバリアフリー対応となっておらず、建物の築年数を勘案すると老朽化対策が課題である。
施設の方向性		<ul style="list-style-type: none"> 地域の核（拠点）となる小学校・中学校や公民館の余剰スペースがある場合には、そのスペースを活用した複合化の可能性について検討を進めるものとし、これによって駐車場の確保等利便性の向上も目指すものとする。 現在、地域住民を指定管理者とした管理運営が行われていることを踏まえ、自治会等の地域活動に使用されることが多い施設については、地域団体へ移管する可能性について検討を進めるものとする。 上記の検討を行った結果、今後も施設を継続保有する場合は、築後経過年数や劣化状況を踏まえて、計画的な保全を進め、必要に応じて大規模修繕等を検討するものとする。

b) 障害者福祉施設

対象施設	施設数	施設名・主な建物等
	5	身体障害者福祉センター、愛光園、大平園、わかくさ園、なかよし園
現状・課題等		<ul style="list-style-type: none"> ・愛光園は、建物の耐震性能不足への対応が課題である。 ・比較的新しいなかよし園以外は、建物の老朽化対策が課題である。
施設の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者による管理運営を行っているが、更なる民間活力の活用（民営化を含む）の可能性についての検討を進めるものとする。 ・上記の検討を行った結果、今後も施設を継続保有する場合は、築後経過年数や劣化状況を踏まえて、計画的な保全を進め、必要に応じて大規模修繕等を検討するものとする。

c) その他保健・福祉施設

対象施設	施設数	施設名・主な建物等
	6	保健センター、福祉センター（宮市、右田、牟礼、玉祖）、中高年齢労働者福祉センター
現状・課題等		<ul style="list-style-type: none"> ・保健センター及び福祉センターは、建物の老朽化対策が課題である。
施設の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・築後経過年数や劣化状況を踏まえて、計画的な保全を進め、必要に応じて大規模修繕等を検討するものとする。 ・福祉センターは、併設する児童館、留守家庭児童クラブの検討結果を踏まえ、余剰スペースがある場合には、そのスペースを活用した他の施設との複合化の可能性について併せて検討するものとする。

⑤ 社会教育系施設

a) 図書館・博物館等

対象施設	施設数	施設名・主な建物等
	3	防府図書館、青少年科学館、文化財郷土資料館
現状・課題等		<ul style="list-style-type: none"> ・文化財郷土資料館は、建物の老朽化対策が課題である。
施設の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・築後経過年数や劣化状況を踏まえて、計画的な保全を進め、必要に応じて大規模修繕等を検討するものとする。 ・文化財郷土資料館は、利用状況を踏まえ、今後の施設の在り方を検討するものとする。

b) 公民館・学習等供用会館

対象施設	施設数	施設名・主な建物等
	16	文化センター、野島漁村センター 公民館（松崎、富海、小野、大道、牟礼、中関、西浦、新田、華城、右田、華浦、向島、佐波、勝間）
現状・課題等		<ul style="list-style-type: none"> ・12施設（文化センター、公民館（富海、牟礼、中関、西浦、新田、華城、右田、華浦、向島、佐波）、野島漁村センター）は、建物の老朽化対策が課題である。 ・文化センターは、勤労青少年ホームに併設している施設であり、建物の耐震性能不足への対応が課題である。
施設の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・公民館や野島漁村センターは、地域の核（拠点）となる施設であるため、地域内にある施設の複合化の受け皿としての可能性を検討するものとする。 ・地域の核（拠点）である小学校・中学校の余剰スペースがある場合には、そのスペースの活用やこれらの改築に併せた複合化の可能性等、長期的視点に立った地域施設の在り方の検討を進めるものとする。 ・地域住民による施設管理が可能な場合は、地域団体を指定管理者とする制度の導入又は同団体への移管の可能性について検討を進めるものとする。 ・文化センターは、利用状況や代替施設の有無を踏まえて、今後の施設の在り方を検討するものとする。 ・上記の検討を行った結果、今後も施設を継続保有する場合は、築後経過年数や劣化状況を踏まえて、計画的な保全を進め、必要に応じて大規模修繕等を検討するものとする。

c) その他社会教育系施設

対象施設	施設数	施設名・主な建物等
	3	視聴覚ライブラリー、勤労青少年ホーム、 海洋民俗資料収蔵庫
現状・課題等		<ul style="list-style-type: none"> ・勤労青少年ホームは、文化センターに併設している施設であり、建物の耐震性能不足への対応及び建物の老朽化対策が課題である。 ・海洋民俗資料収蔵庫は、建物の老朽化対策が課題である。
施設の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・施設の複合化の検討、あるいは築後経過年数や劣化状況を踏まえて、計画的な保全を進め、必要に応じて大規模修繕等を検討するものとする。 ・勤労青少年ホームは、利用状況等に応じて、施設の廃止や複合化の可能性の検討を進めるものとする。 ・海洋民俗資料収蔵庫は、三田尻塩田記念産業公園内への移転（更新）を進めるものとする。

⑥ スポーツ・公園施設

a) スポーツ施設

対象施設	施設数	施設名・主な建物等
	7	スポーツセンター（陸上競技場、武道館、体育館、野球場、運動広場、プール）、向島運動公園
現状・課題等	・スポーツセンター野球場は、建物の老朽化対策が課題である。	
施設の方向性	・築後経過年数や劣化状況を踏まえて、計画的な保全を進め、必要に応じて大規模修繕等を検討するものとする。	

b) その他スポーツ・公園施設

対象施設	施設数	施設名・主な建物等
	2	サイクリングターミナル、花木センター
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングターミナルは、建物の老朽化対策が課題である。 ・花木センターは、建物の耐震診断の早期実施及び老朽化対策が課題である。 	
施設の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングターミナルは、利用状況や指定管理者による管理運営の状況を踏まえて、民営化や用途変更等の可能性を検討するものとする。 ・花木センターは、今後の施設保有の在り方の検討を進めるものとする。 ・上記の各施設の検討を行った結果、今後も施設を継続保有する場合は、築後経過年数や劣化状況を踏まえて、計画的な保全を進め、必要に応じて大規模修繕等を検討するものとする。 	

⑦ 市民文化系施設

a) 文化施設

対象施設	施設数	施設名・主な建物等
	2	公会堂、地域交流センター
現状・課題等	・公会堂は、建物の耐震性能不足への対応及び老朽化対策が課題である。	
施設の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・築後経過年数や劣化状況、利用状況を踏まえて、計画的な保全を進め、必要に応じて大規模修繕等を検討するものとする。 ・公会堂は、耐震改修又は更新の判断を早急に行うものとし、更新の場合には、民間活力の活用の可能性について、検討するものとする。 	

b) その他市民文化系施設

対象施設	施設数	施設名・主な建物等
	5	会館（右田、北山手、大日）、地域協働支援センター、天神ピア
現状・課題等		<ul style="list-style-type: none"> ・会館は、建物の老朽化対策が課題である。 ・地域協働支援センター及び天神ピアは、民間の建物を賃借している施設である。
施設の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・築後経過年数や劣化状況を踏まえて、計画的な保全を進め、必要に応じて大規模修繕等を検討するものとする。 ・会館は、他の施設の余剰スペースがある場合には、そのスペースの活用や複合化の可能性について検討を進めるものとする。また、自治会等の地域活動に使用されることが多いことから、地域団体へ移管する可能性について検討を進めるものとする。 ・地域協働支援センター及び天神ピアは、民間の建物を賃借している施設であり、他の施設の余剰スペースがある場合には、そのスペースを活用した複合化等、施設の在り方について検討するものとする。

⑧ 住宅施設

対象施設	施設数	施設名・主な建物等
	31	市営住宅 （黄金通り、大平山、坂本、大内、日の出町、松原、石ケ口、桑山、亀塚、西田中、小徳田、吉敷、上河原、田島、富海、佐野、緑町、古祖原、北山手、西石ケ口、丸山、新橋町、新前町、柳原北、柳原南、中新田、本村、勝間、三田尻本町） 市有住宅（清水川、中関）
現状・課題等		<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅 23 施設（黄金通り、大平山、坂本、大内、日の出町、松原、石ケ口、桑山、小徳田、吉敷、上河原、田島、富海、佐野、緑町、古祖原、北山手、西石ケ口、丸山、新橋町、新前町、柳原北、柳原南）及び市有住宅 2 施設（清水川、中関）は、建物の老朽化対策が課題である。
施設の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・築後経過年数や劣化状況を踏まえて、計画的な保全を進め、必要に応じて大規模修繕等を検討するものとするが、更新については、代替施設の有無や市営住宅及び市有住宅の必要性・需給バランスを考慮し、最低限のものに留めるよう検討を進めるものとする。 ・指定管理者制度や民間移管等の民間活力の活用の可能性を検討するものとする。 ・市営住宅は、「防府市公営住宅等長寿命化計画」（平成 24 年 2 月策定）に基づいて、計画的な保全を進めるものとする。

⑨ 医療施設

対象施設	施設数	施設名・主な建物等
	2	休日診療所、野島診療所
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 休日診療所は、建物の老朽化対策が課題である。 野島診療所は、建物の耐震診断の早期実施及び老朽化対策が課題である。 	
施設の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 市民生活に不可欠な施設であり、継続保有を前提に築後経過年数や劣化状況を踏まえて、計画的な保全を進め、必要に応じて大規模修繕等を検討するものとする。 野島診療所は、地域の医療サービス確保のための施設であるが、地域の核（拠点）となる施設の余剰スペースがある場合には、そのスペースを活用した複合化の可能性を検討するものとする。 	

⑩ 観光施設

対象施設	施設数	施設名・主な建物等
	4	大平山山頂公園、三田尻塩田記念産業公園、観光情報館、まちの駅
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 大平山山頂公園（展望台）は、建物の耐震性能不足への対応及び老朽化対策が課題である。 観光情報館は、利用実態が近似する他の施設があり、設置時に想定した利用圏域とかい離している状況である。 	
施設の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 築後経過年数や劣化状況を踏まえて、計画的な保全を進め、必要に応じて大規模修繕等を検討するものとする。 観光情報館は、施設の代替性や利用状況等を踏まえて、施設の廃止の可能性を含む今後の施設保有の在り方を検討するものとする。 	

⑪ 産業系施設

対象施設	施設数	施設名・主な建物等
	8	大平山市民農園、水産総合交流施設、防府地域職業訓練センター、大平山牧野、育苗センター、ライスセンター（右田、大内）、青果物地方卸売市場
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 大平山市民農園は、利用実態が近似する他の施設がある。 ライスセンターは、建物の老朽化対策が課題である。 	
施設の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 民間活力の活用の可能性を含め、今後の施設の在り方を検討するものとする。 上記の検討を行った結果、今後も施設を継続保有する場合は、築後経過年数や劣化状況を踏まえて、計画的な保全を進め、必要に応じて大規模修繕等を検討するものとする。 	

⑫ 資源循環系施設

対象施設	施設数	施設名・主な建物等
		2
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンセンターのうち可燃ごみ処理施設とリサイクル施設は、PFI的手法を用いたDBO方式により平成26年度に更新を行い、平成45年度までの20年間の運営業務を民間に委託している。 	
施設の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民生活に不可欠な施設であり、継続保有を前提に築後経過年数や劣化状況を踏まえて、計画的な保全を進め、必要に応じて大規模修繕等を検討するものとする。 ・クリーンセンターのうち可燃ごみ処理施設とリサイクル施設は、民間との運営業務委託契約に基づき、計画的な保全を進めるものとする。 	

⑬ その他施設

対象施設	施設数	施設名・主な建物等
		5
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・競輪場は、建物の耐震診断の早期実施及び老朽化対策が課題である。 ・と畜場は、施設の老朽化が課題である。 	
施設の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・築後経過年数や劣化状況を踏まえて、計画的な保全を進め、必要に応じて大規模修繕等を検討するものとする。 ・斎場は市民生活に不可欠な施設であり、継続保有を前提に築後経過年数や劣化状況を踏まえて、計画的な保全を進め、必要に応じて大規模修繕等を検討するものとする。 ・競輪場は、施設の老朽化が進んでおり、施設保有の在り方の検討を進めるものとする。継続保有する場合は、劣化状況を踏まえて、計画的な保全を進め、必要に応じて大規模修繕等を検討するものとする。 ・と畜場は、施設の老朽化が進んでおり、施設保有の在り方について検討するものとする。 	

⑭ ①～⑬以外の施設

対象施設	公共施設のうち、公衆便所や倉庫等のように簡易で延床面積が比較的小さい建物のみを有する施設（防災倉庫、消防分団消防器庫、都市公園、児童遊園等）
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の老朽化対策が課題である。
施設の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・築後経過年数や劣化状況を踏まえて、適正な配置と計画的な保全を検討するものとする。

(2) インフラ施設

① 道路

施設概要	市道	<ul style="list-style-type: none"> ・一般道路 1,265 路線、延長 659,446.9m ・独立専用自転車歩行者道 3 路線、延長 1,064m
	農道	72 路線、延長 35,434m (舗装 32,357m、未舗装 3,077m)
	林道	43 路線、延長 59,693m (舗装 20,853.5m、未舗装 38,839.5m)
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・市道は、道路パトロール及び通報により随時、補修等を行っている。 ・農道は、広域農道や農免道路等の大規模なものは市が管理を行い、その他については各地域住民で管理を行っている。 ・林道は、道路補修、草刈、不法投棄の回収等の維持管理を行っている。 	
施設の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の整備に当たっては、人口減少等の社会情勢や財政状況を見据え、真に必要な施設の整備を進めるものとする。 ・維持管理については、包括的民間委託等の導入による効果が期待される場合は、積極的に活用を検討するものとする。 	

② 橋りょう

施設概要	橋りょう	730 橋
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・市が管理する（橋長 2m以上）は、730 橋あり、その多くが高度経済成長期に整備しており、特に橋の老朽化対策が課題である。 	
施設の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・「防府市道路橋長寿命化修繕計画」(平成 27 年 3 月策定)に基づき、橋長 6m以上の橋りょう及び重要路線に架橋される橋りょうは予防保全的な維持管理、6m未満の橋りょうは事後的な維持管理とし、全体的な効率性を重視した対策を進めるものとする。 	

③ 上水道

施設概要	庁舎	1 か所
	水源地	5 系統 10 か所
	増圧施設	13 か所
	配水池	15 か所 18 基
	管きよ	延長 627,942m (うち配水管 609,651m)
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・耐用年数を超える管きよや施設が今後増加すると見込んでおり、それらの更新には、多大な事業費を必要とするが、市民生活に密着した重要なライフラインであることから耐震化率の向上対策も含め、事業の優先度を考慮し計画的に更新していく必要がある。 ・総人口や水道使用量が減少しており、将来の施設規模を検討する必要がある。 	
施設の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・「防府市水道ビジョン」(平成 22 年 3 月策定)に基づき、計画的な施設の整備・保全を進めるものとする。なお、平成 31 年には上下水道ビジョンを策定し、効率的な上下水道施設の整備・維持管理を進めていくものとする。 ・経過年数や定期的な点検・診断結果及び需要動向を踏まえて、長寿命化を図るとともに適切な更新時期を設定し、更新計画を策定するものとする。 ・新設・更新時には、維持管理が容易な構造を採用し、維持管理費の削減に努めるとともに、耐震性が高くかつ長寿命の材料を採用するなどの耐震性・耐久性の向上も図るものとする。 ・包括的民間委託等の導入による効果が期待される場合は、積極的に活用を検討するものとする。 	

④ 工業用水道

施設概要	水源地	1 か所
	管きよ	延長 4,257m (うち配水管 4,103m)
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・配水管の耐用年数を 80 年程度と見込んでいるが、昭和 39 年 11 月の給水開始以来更新していないため、今後配水管の老朽化対策が課題となる。 	
施設の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な点検・診断を実施し、需要動向も踏まえて長寿命化を検討するとともに、適切な維持管理を推進していくものとする。 ・包括的民間委託等の導入による効果が期待される場合は、積極的に活用を検討するものとする。 	

⑤ 下水道(漁業集落排水施設を含む)

施設概要	管きよ	延長 482,460.69m (うち野島地区漁業集落排水施設 延長 2,884.60m)
	ポンプ場	14か所
	処理場	2か所(うち野島地区漁業集落排水施設 1か所)
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は事業計画区域内の整備が主体であるが、今後は管きよなどの施設の老朽化対策が大きな課題となる。なお、防府浄化センターや一部の管きよにおいては長寿命化対策を実施している。 ・処理区域面積の拡大により処理区域内人口は増加しているが、総人口や水道使用量は減少しており、将来の施設規模を検討する必要がある。 	
施設の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・「防府市公共下水道事業計画」(平成27年3月策定)に基づき、計画的な施設の整備・保全を進めるものとする。なお、平成31年にはより上位の計画である上下水道ビジョンを策定し、効率的な上下水道施設の整備・維持管理を進めていくものとする。 ・経過年数や定期的な点検・診断結果及び需要動向を踏まえて長寿命化を図るとともに適切な更新時期を設定し、更新計画を策定するものとする。 ・新設・更新時には、維持管理が容易な構造を採用し、維持管理費の削減に努めるとともに、耐震性が高くかつ長寿命の材料を採用するなどの耐震性・耐久性の向上も図るものとする。 ・包括的民間委託等の導入による効果が期待される場合は、積極的に活用を検討するものとする。 	

⑥ 河川

施設概要	準用河川	22河川、延長22,940m
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・河川法(昭和39年法律第167号)により市が指定した河川(準用河川)は、22河川あり、総延長は22,940mである。 ・河川に関する台帳の整備が課題である。 	
施設の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水や洪水から市民の生命財産を守るため、河川法等に基づき適切な維持管理を行うものとする。 	

⑦ 漁港

施設概要	第一種	5 漁港（富海、牟礼、中浦、西浦、大道）
	第二種	2 漁港（野島、向島）
現状・課題等	・多くの施設において、老朽化対策が課題である。	
施設の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・漁港ごとに策定した「機能保全計画」に基づき、老朽化・延命化対策を進めるものとする。 ・漁業集落の生活環境の向上及び防災機能の強化を図るため、排水対策や狭あい道路の整備を行うものとする。 	

⑧ その他の施設

施設概要	①～⑦以外のインフラ施設（排水機場等）	
現状・課題等	・多くの施設において、老朽化対策が課題である。	
施設の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の整備に当たっては、人口減少等の社会情勢や財政状況を見据え、真に必要な施設の整備を進めるものとする。 ・安全性や経済性を重視した計画的かつ適切な施設保全による長寿命化を推進するものとする。 ・民間活力の活用や市民参画により、施設の安全確保と費用削減を両立させた効率的な維持管理を推進するものとする。 	